

令和5年度（2023年度）北海道教科用図書選定審議会 第3回 議事録

日 時 令和5年（2023年）6月7日（水）10:00～16:00

場 所 北海道第二水産ビル8階8ABC会議室

出席者

<委員>

安藤 尚志	石川 直美	岩永 雅浩	川原 明子	久保田 純史
黒島 泰彦	木挽 ひろみ	下山 弘美	菅原 巧	伊達 峰史
田中 敦士	谷渕 友美	東間 義孝	藤原 裕美	益子 忠行
三浦 智子	若林 梨恵			

<事務局>

北海道教育庁学校教育局

義務教育課長	遠藤 直俊
義務教育課課長補佐	山田 きわこ
義務教育課課長補佐	成田 仁
義務教育課義務教育指導係長	木野下 尚大
義務教育課義務教育指導係主査	平山 道大
義務教育課企画・支援係主査	本間 さつき
特別支援教育課課長補佐	山内 功
特別支援教育課特別教育支援制度推進係主査	坂内 仁
特別支援教育課特別支援教育指導係指導主事	高石 純

欠席者

<委員>

濱口 憲太、藤倉 由美子、表 純一

議 題

1 報告

採択基準について

2 審議

(1) 説明

ア 教科用図書採択参考資料（案）の作成経過について

イ 教科用図書採択参考資料（案）について

(2) 審議

教科用図書採択参考資料（案）について

3 その他

【開会】

事務局) 会議に入ります前に、お配りしております資料について、確認させていただきます。「会議次第、名簿」のほか、資料1～資料6となっております。

本日は、北海道教科用図書選定審議会委員20名中、17名と、過半数の委員の方々に出席いただいていることから、本審議会規則の規定を満たしておりますので、ただ今から、令和5年度北海道教科用図書選定審議会の第3回会議を開催します。

なお、本日は、濱口委員、藤倉委員が欠席、下山委員が午前欠席し、午後から出席されます。

また、表 純一委員につきましては、5月31日付けで稚内市教育委員会教育長を辞任され、本審議会委員の選任要件を満たさなくなるとの理由で、委員を辞任する旨、5月下旬にお申し出がありました。本来でありましたら、委員の欠員に対して新たな委員を任命すべきところですが、任命に係り必要とされる道教育委員会への付議を行う場合、今回の審議会より後の日程となってしまうこと、今回の審議会が今年度最後の開催となることから、この度は新たに委員を任命せず、19名の委員体制でご審議いただきたいと考えております。

会議に入ります前に、6月1日付け人事異動に伴い、新たに着任した事務局職員をご紹介申し上げます。義務教育課課長補佐の成田仁でございます。義務教育課課長補佐の山田きわこでございます。

続きまして、本日の議事について説明いたします。お配りしております、次第をご覧ください。

まず「1 報告」ですが、採択基準に係る答申について、東間会長からご報告いただき、採択基準の決定について、事務局からご報告します。

次に「2 審議」ですが、教科用図書採択参考資料（案）について、事務局から説明させていただいた後、ご審議いただき、答申として決定していただきたいと思いますと考えております。

それでは、これからの進行は、東間会長にお願いいたします。

【議事】

1 報告

採択基準について

会長) それでは、議事に入ります。まずは、「1 報告」ですが、「資料1」としてお配りしております「答申書の写し」のとおり、4月26日に、私から北海道教育委員会に答申いたしましたので、報告いたします。

採択基準につきましては、事務局から報告をお願いします。

事務局から採択基準についての報告

- ・採択基準に係る答申については、5月10日に開催された北海道教育委員会で報告し、その後、採択基準を決定し、市町村教育委員会等に通知しました。

質疑応答（有・無）

2 審議

(1) 説明

ア 教科用図書採択参考資料（案）の作成過程について

会長） 次に、「2 審議」に入りたいと思います。まず、(1) 説明ア「教科用図書採択参考資料（案）の作成経過について」事務局から説明をお願いします。

事務局からの教科用図書採択参考（案）の作成過程について説明

- ・第2回目の審議会におきまして、教科用図書を調査研究し、採択参考資料（案）を作成するための調査・研究を行う調査員を決定していただきました。その後、4月27日付けで82名の調査員を任命しました。
- ・調査員のうち、本日は29名が説明者として出席しております。お手元の名簿の、「3 説明員」として記載しておりますので、ご覧ください。
- ・小学校用の教科用図書の採択参考資料(案)については、第1回調査員会議を4月27日に開催し、全体日程、分担、調査・研究方法、執筆要領等を協議の上、第2回調査員会議までに各自調査・研究を進めてくることといたしました。
- ・第2回調査員会議は、5月中旬～下旬のうち1日間、第1回調査員会議で確認した分担により、学識経験者のご意見も伺いながら、調査・研究を行い執筆作業に当たりました。
- ・第3回調査員会議は、5月30日に実施し、採択参考資料（案）を作成しました。
- ・一般図書の調査員会議については、5月11日と12日の2日間で調査・研究を行い、採択参考資料（案）を作成しました。作成した採択参考資料(案)は、資料3および資料6として、お配りしております。

質疑応答（有・)

イ 教科用図書採択参考資料（案）について

会長） 続きまして、「令和6年度から使用する小学校用教科用図書採択参考資料（案）及び「令和6年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料（案）」の審議に入りたいと思います。

まず、この後の審議の進め方についてお話しします。従前より、教科用図書選定審議会では、採択参考資料の審議については、部会を設けて、部会別に審議を行っております。これは、委員の皆様、採択参考資料と教科書とを直にご覧いただきながら、詳細に資料について審議いただけるよう、説明員が委員の近くで説明いただくために、部会別審議という形をとらせていただいているものです。

この部会別の審議を行い、その結果を全体会において、改めて審議することとしたいと思います。が、いかがでしょうか。

各委員） 了解

会長） 審議は、委員の皆様、4つの部会に分かれていただき、1部会あたり3種目から4種目について、説明員が各部会に対し、説明していく形で進めていきます。

それでは、部会に分かれる前に、共通する様式の内容や構成について説明いただきます。

はじめに、小学校用の教科用図書の採択参考資料（案）について、事務局から説明をお願いします。

(7) 事務局から令和2年度から使用する小学校用教科用図書採択参考資料（案）について説明

- ・資料2「採択参考資料作成要領」をご覧ください。「3 調査研究の方法」について説明します。種目別にそれぞれの教科書見本について、調査研究の観点に基づき、1者を2名以上の調査員で調査した後、調査員全員で協議、検討の上、まとめました。
- ・資料3「採択参考資料（案）」をご覧ください。国語を例に説明させていただきます。
- ・様式1について説明します。上段には、学習指導要領に示されている教科の目標、その下には、学年、領域等の目標などを記述しています。欄外の【参考】には、学習指導要領に示された各教科の目標の改善と標準授業時数を記述しています。この目標・内容等に基づき、調査研究を行いました。
- ・様式2は、発行者ごとにすべての学年をまとめて「取扱内容、内容の構成・排列」「使用上の配慮等」「その他」に分けて記述しています。
- ・観点の1つめ「取扱内容、内容の構成・排列」について説明します。この項目は、学習指導要領の総則及び教科の目標、内容等に基づいて調査し、各教科の領域や内容ごとの特色について記述しており、国語では、○の1つめ「[知識及び技能]の内容」から4つめ「読むこと」までがこれに相当します。また、2ページ下段の一番下の○では、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習に対応するために取り上げられている内容について記述しています。3ページ上段の○の1つめでは、内容の構成・排列の工夫として、学年の発達の段階に応じて、系統的、発展的に組織されているかなどについて記述しています。
- ・観点の2つめ「使用上の配慮等」について説明します。この項目では、○の1つめでは、児童の学習意欲を高める工夫について、2つめでは、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫について、3つめでは、使用上の便宜について顕著な例を記述しております。
- ・「その他」では、学習者用デジタル教科書の発行予定について記述しています。
- ・国語の8ページ、様式3をご覧ください。様式3は、上段の囲みでは調査研究の内容をより客観的に調査するための調査研究の対象とした事項を記述しています。なお、調査研究の対象とした事項のうち、②については教科固有の項目を設定し、③では北海道とかかわりのある内容を設定しています。下段の囲みでは、それぞれの調査項目を設定した理由を記述しています。
- ・国語の9ページの様式4をご覧ください。様式4は、様式3の具体的な調査項目に基づき数値化したデータをまとめたものです。表の左にある調査項目枠に、網かけをしている項目、③の「北海道とかかわりのある内容を取り上げている教材数」については、調査結果の詳細なデータを10ページの様式5に一覧表としてまとめています。

(イ) 事務局から学校教育法附則第9条に規定する教科用一般図書の採択参考資料（案）について説明

- ・資料4「令和元年度調査員会議（一般図書）調査研究報告書」をご覧ください。
- ・表1は、今年度新規に調査・研究を行った図書9冊です。道教委では、文部科学省が発行する「令和5年度一般図書契約予定一覧」に収録されている図書の中から、取り扱われている内容、内容の程度、排列及び分量、使用上の配慮などの観点を踏まえ、子どもが意欲的に学習することができる図書の追加について検討することとしており、本年度は10冊の追加について検討いたしました。
- ・合わせて、令和5年度（2023年度）使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級用教科用図書（一般図書）採択参考資料に掲載されている一般図書についての調査・研究を行い、表2に記載の通り、331点、67者について令和6年度（2024年度）使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料(案)として取り

まとめました。

- ・採択参考資料の大枠について、国語を例に説明いたします。調査研究は、教科・種目のそれぞれの見本本について、調査研究の観点に基づき、調査員6名で資料5の作成要領を踏まえて協議、検討しまとめました。
- ・資料6の4ページ国語の中央の欄をご覧ください。「取扱内容」「内容の程度・排列・分量等」「使用上の配慮等」の順に、3文構成で記述しております。
- ・「取扱内容」については「取り上げられている題材に、学習指導要領の総則及び各教科、特別の教科道徳（以下「教科等」という。）の内容が考慮されているか。」「内容の取り上げ方や表し方が、障がいの特性に即しているか。また、どのような特徴をもっているか」等の構成について調査研究を行いました。
- ・「内容の構成・排列・分量等」のうち「内容の構成」については「地域の実態や児童生徒の生活経験、発達の段階、特性及び興味・関心などに配慮されているか」、「内容の排列」については「発達の特性や学習内容の系統性などに配慮されているか」、「内容の分量」については「児童生徒の実態に即し、教科等にわたって適切に配慮されているか」などについて調査研究を行いました。
- ・「使用上の配慮等」については、印刷、造本に対する配慮や文字や絵、さし絵などに関する配慮について調査研究を行いました。
- ・「障がいの種類」の欄をご覧ください。この欄では対象とする障がい種を示しており「視」は視覚障がい、「聴」は聴覚障がい、「知」は知的障がい、「肢」は肢体不自由、「病」は病弱となっております。
- ・「発達の段階」の欄をご覧ください。この欄は対象とする発達の段階を示しており、Aは話し言葉を持たず、簡単な物の弁別が可能な段階にあるもの。Bは話し言葉を持ち、物事の簡単な因果関係が分かる段階にあるもの。Cは簡単な読み書きは可能であるが、学年相応の文部科学省検定教科書や文部科学省著作教科書では、学習が困難な段階にあるものとなっております。
- ・備考の欄をご覧ください。図書の大きさ、素材、ページ数及び発行年を記述している他、現在は表記が変わっている等、指導の際に注意が必要な箇所があるものについてはその旨を記述しております。

(ウ) 質疑応答 (有・無)

会長) それではこの後、具体的な内容についてご審議をいただきますが、先ほど、お話ししましたように、部会別の審議を行うこととします。

部会について資料を配付させていただきましたが、委員の皆様から特にご意見がなければ、これによりたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 了解

会長) では、部会の構成については、これによることとします。

部会別審議の進め方ですが、まず各部会は、委員の互選により代表者を1名決めて、代表者の進行により進めてください。各部会の代表者は、全体審議の際、部会の審議結果を発表してください。

次の視点により、審議願います。「各者の特徴がわかりやすく示されているか」「各者に優劣のない報告になっているか」「調査研究の観点ごとによりわかりやすく表現されているか」の視点で審議願います。

事務局) 部会の会場についてご案内いたします。それぞれの部会の場所に、移動願います。

【部会構成】

部 会		審議会委員	調査員 (説明者)
第1 部会	国語	藤原 裕美 岩永 雅浩 菅原 巧 石川 直美	山本 泉美 石垣 友和
	書写		森田 雅彦 大内 崇
	生活		菅野 裕介 國木 勇輔
第2 部会	外国語	川原 明子 黒島 泰彦 久保田 純史 東間 義孝	松本 了祐 熊崎 高士
	道徳		因 雅仁 長南 彩
	保健		駒津 和康 渡辺 祥太
第3 部会	社会	伊達 峰史 下山 弘美 若林 梨恵 安藤 尚志 谷渕 友美	関口 祐太郎 新栄 裕
	地図		山寺 潤 土佐林 洋介
	家庭		中脇 尚子 道幸 篤史
	理科		堀 智大 小野 晴子
第4 部会	特別支援	益子 忠行 三浦 智子 木挽 ひろみ 田中 敦士	高石 純 吉岡 奈穂子 鈴木 喬
	音楽		横地 康恵 三笠 裕也
	図画工作		児玉 祥洋 吉村 暢起
	算数		鈴木 理抄 森 茂之

(2) 審議

ア 部会別審議

各部会に分かれて審議した。詳細は、部会別審議内容のとおり。

イ 全体審議

会長) 教科用図書採択参考資料についての全体審議を行います。はじめに、各部会ごとの審議経過及び審議結果を代表者の方から報告していただきます。

(ア) 各部会報告

a 第1部会の報告

(a) 国語

3者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 各者の特徴的な教材について質問がありました。

調査員から、伝統的な教材として「竹取物語等を声に出して読む教材」「枕草子にならって季節を紹介する教材」「浦島太郎を読む教材」などが示されているとの説明がありました。

- ② 北海道とかわりのある調査研究の内容について質問がありました。

調査員から、趣意書等に示されている「北海道」「北海道の地図」「アイヌ語」の教材数を調査研究したとの説明がありました。

- ③ SDGsに関する内容について質問がありました。

調査員から、SDGsを題材にパンフレットを作成する学習活動が掲載されていたり、二次元コードにより、持続可能な開発目標の資料やSDGsに関する動画等が掲載されていたりしているとの説明がありました。

- ④ LGBTに関する内容について、質問がありました。

調査員から、一者の第6学年に教材の中に「性的な志向」という言葉が扱われているとの説明がありました。

- ⑤ 各者の分量の増減について質問がありました。

調査員から、発行者により増減の状況は異なるとの説明がありました。

- ⑥ 文章表現を統一することについて意見がありました。

調査員から、見直すとの説明がありました。

(b) 書写

3者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 国語科との関連について質問がありました。

調査員から、各者において国語との関連を図るマークやコーナーが設けられているとの説明がありました。

- ② 新型コロナウイルス感染症との関連について、質問がありました。

調査員から、各者とも教科書の冒頭や裏表紙において、感染予防について記載しているとの説明がありました。

- ③ 前回の改訂時とのページ数の増減について、教科書の重さが話題になることがあるため、全教科共通の対応をした方がよいとの意見がありました。

- ④ 書く時の姿勢に関する記述について調査研究を行うことについて、意見がありました。

調査員から、扱っていない発行者があるため、調査項目として記載していないとの説明がありました。

(c) 生活

7者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 中学年移行への接続について、質問がありました。
調査員から、各者とも、中学年へのつながりについて掲載しているとの説明がありました。
- ② スタート・カリキュラムについて、質問がありました。
調査員から、全者、保護者への記載、学校生活の流れなどについて掲載しているとの説明がありました。
- ③ 多様性について、質問がありました。
調査員から、様々な年齢や人種のキャラクターを配置しているとの説明がありました。
- ④ 使用上の配慮等において、他教科では「～したり（全学年）」となっているが、生活科では「（全学年）したり、」となっていることについて、意見がありました。
調査員から、表記を統一するとの説明がありました。
- ⑤ 第3学年との関連について、質問がありました。
調査員から、全者、町の探検などにおいて、地図の読み方などの関連が図られているとの説明がありました。
- ⑥ 二次元コードに関する記載について、教科により示す内容の具体が異なることから、各教科における調査研究の内容をそろえることについて、意見がありました。

b 第2部会の報告

(a) 外国語

6者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 「歌アニメーション」とは何かについて、質問がありました。
調査員から、編修趣意書に記載されている言葉であり、内容については、アニメーションの中に歌が入っているものとの説明がありました。
- ② デジタル教科書や二次元コードについて、内容が記載されており、分かりやすいとの感想がありました。
調査員から、様式2の使用上の配慮等やその他において、二次元コードとデジタル教科書の特徴について、各者の特徴を記載したとの説明がありました。
- ③ 北海道に関わる内容にはどのようなものがあるのかについて、質問がありました。
調査員から、北海道に関わる内容については、様式5に示している内容のとおりとの説明がありました。

(b) 特別の教科 道徳

6者の教科用図書について報告がありました。

【質問】

- ① 東京書籍の「心のちから」の記載の場所について、質問がありました。
調査員から、巻頭ページに記載してあるとの説明がありました。
- ② 東京書籍の「どんな学びをするのかな」の記載の場所について、質問がありました。
調査員から、第2学年においては、P6、7に記載しており、すべての学年に「どんな学びをするのかな」は記載されているとの説明がありました。

- ③ 二次元コードに関する表記の内容について、質問がありました。
調査員から、各者の内容解説資料に記載されている文語を活用して作成したとの説明がありました。
- ④ 「いじめ」に関する内容について、質問がありました。
調査員から、例えば、友だちがいてよかったことやよいことをするとどんな気持ちになるのかを考えることにより、いじめについての考えを深めるきっかけとしているとの説明がありました。

(c) 保健

6者の教科用図書について報告がありました。

【質問】

- ① SDGsの取扱いについて、質問がありました。
調査員から、1者以外の発行者においてマークで示したり、巻頭及び巻末資料で示したりしているとの説明がありました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の取扱いについて、質問がありました。
調査員から、全者、第5・6学年の「病気の予防」において、マスクの付け方、手指消毒の仕方、感染拡大の予防の取組について扱われているほか、大修館書店、文教社、学研の第3・4学年の「健康な生活」において、換気の学習との関連付けで掲載されているとの説明がありました。
- ③ がんの取扱いについて、質問がありました。
調査員から、全者、第5・6学年の「病気の予防」において、生活習慣病や喫煙による害などで扱われているとの説明がありました。
- ④ 内容排列の記載について、各者の記載に温度差がなく、分かりやすいとの感想がありました。

c 第3部会の報告

(a) 社会

3者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 様式4の空欄における線の有無を各者でそろえることについて、意見がありました。
調査員から、修正するとの説明がありました。
- ② 児童が主体的に学習に取り組むための工夫について、インデックスを取り上げている発行者とコーナーを取り上げている発行者があるが、全者とも、インデックスに関する工夫を取り上げることについて、意見がありました。
調査員から、趣意書に基づいて記載しているとの説明がありました。
- ③ SDGsに関する内容を調査研究することについて、意見がありました。
調査員から、各者においてSDGsに関連するページを掲載しているとの説明がありました。
- ④ 内容の排列に関する項目に記載されている単元として、まちづくりの単元を取り上げている発行者と防災の単元を取り上げている発行者があることにかかわり、各者の単元を取り上げた理由について、質問がありました。
調査員から、題材を選択できる単元を取り上げているとの説明がありました。

- ⑤ 二次元コードの取扱いについて、質問がありました。
調査員から、各者とも第3学年から第6学年まで扱われており、各者の数値について説明がありました。
- ⑥ 教科書の使い方に関するページについて、質問がありました。
調査員から、3者とも巻頭のページに示されているとの説明がありました。
- ⑦ 様式5における「ウポボイ」の表記をそろえることについて、意見がありました。
調査員から、各者の教科書の記述に基づいて示しているとの説明がありました。

(b) 地図

2者の教科用図書について報告がありました。

【質問】

- ① 二次元コードの箇所数について、質問がありました。
調査員から、東京書籍は37箇所、帝国書院は52箇所あるとの説明がありました。
- ② 帝国書院の取扱内容の3つ目の表記について、「歴史の学習で活用できる」と言い切りになっていることについて、質問がありました。
調査員から、趣意書に記載があるとの説明がありました。

(c) 家庭

2者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 使用上の配慮における、ユニバーサルデザインフォントの表記について、優劣を付けない表記にしたほうがよいとの意見がありました。
調査員から、どちらの言葉も趣意書の表記を使用しているが、どちらの教科書にもユニバーサルデザインフォントと記載があることから、統一した表記とするとの説明がありました。
- ② 開隆堂のページの下に記載されている豆知識を、児童の興味・関心を引く特徴として取り上げることについて、意見がありました。
- ③ 児童の興味・関心を引く工夫として、英語の表記があるとの感想がありました。
- ④ 中学校とのつながりについて、質問がありました。
調査員から、各者とも中学校への接続が示されているとの説明がありました。
- ⑤ 二次元コードの箇所数について、質問がありました。
調査員から、東京書籍は142箇所、開隆堂は237箇所に記載があるとの説明がありました。

(d) 理科

6者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 二次元コードから閲覧することができるWebページの内容の特徴を記載することについて、意見がありました。
調査員から、趣意書に掲載されている内容のみを記載したとの説明がありました。
- ② 二次元コードの箇所数について、質問がありました。
調査員から、各者とも第3学年から第6学年まで扱われており、各者の数値について説明がありました。
- ③ 教育出版の使用上の配慮に記載されている「ユニバーサルフォント」については「全学年」

と記載しているため、他教科とそろえて学年を記載することについて、意見がありました。

- ④ 啓林館の使用上の配慮において「児童の豊かな表情」という記載は主観的ではないかという
ことについて、意見がありました。

調査員から、趣意書に記載のあった言葉を用いたとの説明がありました。

d 第4部会の報告

(a) 特別支援

【質問】

- ① 「はじめてのオーケストラ」について、デジタル音を教材として用いることの意図について、
質問がありました。

調査員から、デジタル音は音がクリアに聞こえ、何度も再生できる、図書であるため持ち
運んで他者に聞かせることができるなどの利点があり、児童生徒にとって親しみやすい教材
であるとの説明がありました。

- ② 「こどもせいかつ百科」について、実際の授業でどのように活用するのかなど、授業での
活用方法について、質問がありました。

調査員から、本図書については、日常生活の指導や生活単元学習、作業学習など、いわゆ
る「各教科等を合わせた指導」において、例えば、清掃を行う前に本図書を活用し、雑巾の
使い方を確認するなど、基本的な生活習慣に必要な内容を指導するなどして活用するとの説
明がありました。

(b) 音楽

2者の教科用図書について報告がありました。

【質問】

- ① 二次元コードのリンク先の教材について、質問がありました。

調査員から、動画及び関連するワークシートなどがあるとの説明がありました。

- ② 二次元コードへの接続について、質問がありました。

調査員から、教師はもとより、子どもたちも一人一台端末を活用し、学校でも家庭でもア
クセスすることができるとの説明がありました。

(c) 図画工作

2者の教科用図書について報告がありました。

【意見】

- ① 使用上の配慮でユニバーサルデザインについて示されているが、タイトルの色やデザイン
について、色覚などの子どもには心配な面がある発行者があると意見がありました。

調査員から、各者の趣意書や内容解説資料では、色やフォントサイズに配慮してるとの記
載があったとの説明がありました。

(d) 算数

6者の教科用図書について報告がありました。

【意見・質問】

- ① 算数の学習においては、国語における表現する力が必要と考えるが、調査の観点としな
かったことについて、質問がありました。

調査員から、算数科の目標ではないため、調査の観点とはしていないとの説明がありま
した。

② 例えば「ぐるうぶ」という平仮名の表記について、混乱する子どもがいるのではないかという意見がありました。

調査員から、カタカナを学習する前の段階であることから、このような表記となっているとの説明がありました。

③ 四領域の中で「データの活用」についての説明したことについて、質問がありました。

調査員から、全者において、特に「データの活用」に特徴が見られたためとの説明がありました。

④ 第1学年の教科書が2冊に分かれていることを調査項目にしなかったことについて、質問がありました。

調査員から、全者が2冊にしていないこと、また、公平公正の観点から調査項目としなかったとの説明がありました。

⑤ 子どもの混乱を避けるため、カラーユニバーサルな観点を、調査項目にすべきだったのではないかという意見がありました。

調査員から、各者で使用している色が、色覚の特性を踏まえたものになっているか判断できなかつたため、調査項目としなかったとの説明がありました。

会長) 小学校用教科用図書の採択参考資料(案)について審議を行います。種目ごとに、皆様からご意見、ご質問を伺っていきたくと思います。まず、国語についてですが、ただ今の部会からの報告及び採択参考資料(案)について、ご意見、ご質問はございませんか。

(※ 同様に書写、生活、外国語、道徳、保健、社会、地図、家庭、理科、音楽、図画工作、算数の順に進めた。)

ウ 質疑応答(有 無)

会長) それでは、「令和6年度から使用する小学校用・教科用図書・採択参考資料」につきましては、これまでいただきました御意見について修正の上、後ほど、私から、道教委へ答申いたします。

各委員) 了解

令和6年度から使用する小学校用教科用図書採択参考資料の決定

審議を踏まえ、国語、書写、生活、社会、家庭について修正の上、当該採択参考資料(案)を答申として決定した。

決定した採択参考資料を答申として、会長が北海道教育委員会に答申することとした。

会長) 学校教育法附則第9条に規定する教科用図書一般図書の採択参考資料(案)の審議を行います。先ほどの第4部会からの報告、また一般図書の採択参考資料(案)全体を通して、御意見、御質問はございませんか。

エ 質疑応答(有 無)

令和6年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書の採択参考資料の決定

審議を踏まえ、原案どおり、当該採択参考資料(案)を答申として決定した。

決定した採択参考資料を答申として、会長が北海道教育委員会に答申することとした。

3 その他

会長) 最後に委員の皆様から何かございますでしょうか。
以上をもちまして、本日の議事は、全て終了いたしました。

本日の会議が、最終の会議となりますので、私から一言、ご挨拶申し上げたいと思います。

会長) 挨拶

副会長) 挨拶

会長) それでは、進行を事務局にお返しします。

【閉会】

事務局) ありがとうございました。本日、ご審議いただいた採択参考資料については、この後、東間会長より道教委へ答申をいただき、6月15日に開催の北海道教育委員会において、答申内容を報告させていただく予定をしております。

については、報告までの適正な情報管理のため、本日、お配りした採択参考資料は回収させていただきます。

さらに、本日、配付させていただいている名簿につきましても、審議会委員や調査員の氏名が記載されておりますので、お帰りの際に、名簿と採択参考資料を机上に残しておいていただくよう、御協力をお願いいたします。

会議の終了に当たり、義務教育課長の遠藤より、ご挨拶申し上げます。

義務教育課長) 挨拶

事務局) これを持ちまして、会議を終了させていただきます。委員の皆様方には、3回にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。